

北海道方面

旭川少年團の街路美化運動

旭川市内十二小學校尋常科五年以上の男生徒で組織さるゝ旭川少年團は北海道招魂祭典の前日たる六月三日午前八時から街路美化運動を行ふたが、女生徒も總出で應援し四年生以下幼學年兒童は各其校庭又は附近神社公園等の境内清掃に従事し、午前十時各其學校に引揚げた。

夕張穂別間の連絡道路

夕張町と穂別村を連絡する道路開鑿は漸

ある。従つて地方民の待望久しかつた日勝海岸道路完成の曉は同地方交通の上に革新をもたらすであらう。

東北方面

福島、米澤間産業道路

太平洋と日本海——裏日本と奥州路を繋ぐことによつて兩者の經濟提携を計らんとする機運が東西合して鐵道仙山線の建設となつたが、理想と實際は一致せず、天險面白山に阻まれて末だに實現せずに居る際、

日勝海岸道路

次具體化しつゝあるが、更にこれが促進運動をなすべく六月七日松尾夕張町長並に町議新聞記者の一行十餘名は登川より中穂別へ實地踏査を行ふた。

畑山道廳土木部長の言明に依りて日高、十勝を連絡する日勝海岸道路は本年中に完成することゝなつた。即ち庶野村字サクバイより猿留に至る約一里半の難工事を本年度完成以東國境迄約三里は明年度と豫定されてゐたのを全部本年度中に開鑿を遂げることになつたもので、十勝側の工事も本年度を以て國境迄完成することゝなつたわけ

隣縣福島から米澤へ抜ける産業道路が今年中に完成することゝなつた。従來福島から分岐して裏日本を傳ひ青森に通ふ國道第五號線中福島米澤間奥羽山脈に穴を明けて進む二ツ小屋隧道は幅員三米に過ぎぬ頗る原始的なもので、トラツクの通行を許さずこれが爲にこの間の交通は遮斷されて居り、物資輸送連絡は不可能となつてゐたが、内

務省は今年度豫算でこれを改修することに
なり、仙臺土木出張所で設計を行つた結果
工費二十萬圓で幅員六米、高さ五米に擴大
し、附屬道路を加へて延長三百七十七米の
隧道を理想的に改修することとなつたから
明年からトラツクが自由に兩者を繋ぎ、米
澤と福島間の交通は非常に便利となるであ
らふ。

奥州路の改修

交通不便の爲、兎角物資の輸送圓滿を缺
き奥地の産物はその搬出路を閉塞されて不
況に泣いた奥州路も三年前から幹線國道の
修理改善が行はれる様になり、舊幕時代參
觀交代の遺物としておよそ實用の時代から
忘れられて居た本街道にも華が咲く時勢が
來た。そして今年は左の如き國道改修のプ
ランが内務省仙臺土木出張所の手に依つて
立てられ、着々實行に移されて居る。もし
てその改修の裏面に奥州の産物が油然と踊
り出す用意が出來て居る——

宮城縣 工事豫算二十萬圓、國道四號線
増田、岩沼間の鋪裝工事延長七千七百
八十四米。

岩手縣 工事費二十五萬圓、膽澤郡佐倉
河村と金ヶ崎町間の爾巡橋三百七十二
米を鋸筋コンクリート橋に改築し附屬
國道四號線延長四百四十七米。

青森縣 工事費二十五萬圓、青森市浪打
を起點とし、沖館字千刈に至る國道四
號線並に五號線延長四千四百八十四米
と橋梁堤防延長六十四米。

福島縣 工費二十萬圓、國道五號線二津
小屋隧道。

大鷹森遊覽道路の完成

海を見る季節が來た、松島灣のシーズン
である。大鷹森から嵯峨溪にかけての裏景
色は最近やうやく觀光客に認められて地元
宮城縣桃生郡宮戸村と野蒜村ではかねて陸
路大鷹森に通る歩道を改修中であつたが今
般完成した。仙臺から三時間を要する觀賞

地點もこれで二時間に短縮された。

峨々温泉道路の改修

藏王山麓の峨々温泉に至る交通路は極め
て險峻なる山道の徒歩によるの外ないたぬ
極めて不自由であつたが、今回仙臺營林署
と青根、峨々兩温泉有志によつて自動車を
通ずる程度の道路が開かれることとなつた
これがため青根温泉組合長丹野七兵衛氏お
よび峨々温泉竹内直也兩氏は十八日縣土木
課、山林課及び營林署を訪問、打合せを行
つた。開設される道路は青根物見巖より花
房山スロープを通り、峨々に至る約六軒で
幅四米の完全なる自動車路とするもので、
近日中測量とゞもに着工、秋の紅葉頃まで
には開道の豫定である。

福浦島架橋の實現

月に風情の福浦島へ架橋する問題は、い
よ／＼五年越しで實現することになつた。
六月十二日の松島町協議會で決定、近く本

會議にかける段取りになつてゐる。總工費は三萬五千圓、縣の補助によつて通河崎沙汀より二百二十米、三米の幅にして橋桁を鐵筋コンクリート、欄干橋床は木造りにて朱塗となし、欄干の擬寶珠は電燈として夜の松島風景を一しほ優雅にするとのことである。同島は四萬坪の島嶼で殊に地味豊沃清水湧出し枝ぶりのよい磯松は勿論楓樹、樟、山櫻の潤葉樹から秋は紅葉にふさはしい蔦かつらの叢と共に趣きある竹林あり花の春から雪見の松島、新緑に月に趣きをそへる隨一の仙島とてこれが竣工の晩は一大遊園地となるわけである。

鹽松道路の開鑿

鹽釜町における昭和八年度の土木匠救事業は、町道開鑿、並に西町東裏埋立の二つであるが、昨年度において東鹽釜、吉津間の竣工を告げた町道は、今年度においていよいよ利府村、須賀浦まで全通することに、一方松島海岸霞浦より濱田庵島まで

の道路も完成、この間二哩餘の未完成になつてゐる。縣では今年の土木工事に松島五萬圓、鹽釜二萬圓の豫算を置き、多年叫ばれてゐた鹽松道路の開鑿を實現せしめることになつたが、只前記町村道路は部落から町への交通道路であるし一方臨海觀賞道路を主眼としての縣工事は、これ等既成往還を辿らずに開鑿するかもしれない。何れにしてもこの工事の完成と共に松島、鹽釜兩町をつなぐ唯一の道路が實現するので當に遊覽客の觀賞を恣にするドライブ道路のみでなく、地方産業交通のためにもなくてはならぬ要道として一般から喜ばれてゐる。

北陸方面

七年度農振町村土木

工事実績

新潟縣七年度の農村振興の町村土木工事の實績に就ては、其後縣廳土木課に於て鋭

意調査中であつたが、今回其集計を終り六月二十二日内務省に報告されたが、内課の概要は次の如くである。即ち農村振興各種事業のために臨時縣會で割當額の協賛を得たのは昨年九月十六日であり、愈々割當額を決定して補助指令を發送したのは十月三日であるが、各町村も事業の性質を能く諒解し、必ず年度内完工の條件を確守し、急速準備に着手した結果、大部分は十月下旬に起工、十二月中には殆ど全部起工済みとなり、順次竣工届の提出を見たのであるが、最後の竣工は佐渡郡羽茂村棧橋の架設工事で三月三十一日の届出になつてゐる。而して縣下四百ヶ町村中此振興事業の割當なかつた町村は三島郡出雲崎町、西蒲原郡彌彦村、北蒲原郡南濱村、同米倉村、岩船郡保内村の五ヶ町村である。前記出雲崎町は農林省關係の港湾事業多額のため除かれたものであり、その他の町村は全然希望なかつたに依る。以下は縣下全體の事業実績である。

△町村道路改修費内譯

國庫割當額一、三一〇、〇〇〇圓、計畫
畫高一、三二一、三三四圓、竣工額一、
三四七、七四一圓

△町村河川改修費内譯

國庫割當額二三三、〇〇〇圓、計畫額
二三三、三四〇圓、竣工額二三五、六
〇三圓

△町村港灣修築費内譯

國庫割當額四〇、〇〇〇圓、計畫額四
〇、〇〇〇圓、竣工額四〇、〇五五圓

斯く割當額よりも計畫額又は竣工額に於
て増加してゐるのは、何れも町村の希望に
より増加額は町村の負擔となつてゐる。

△改修及修繕延長

道路計畫延長八三〇、九七六米、竣工
延長八五五、三三〇米
河川、計畫延長三〇、六二二米、竣工
延長三三三、二九米
港灣、計畫延長一、〇二七米、竣工延
長一、〇九六米

△工事個所數 四百町村中

道路 三八五町村で七三一ヶ所
河川 七七町村で一三八ヶ所
港灣 一〇町村で一ヶ所

計 四七三町村 八八〇ヶ所

であり、道路河川港灣の三ヶ所を全部やつ
たものは佐渡郡河崎村一ヶ所であるが、道
路と河川をやつたものは六十六町村又道路
と港灣若しくは河川をやつたものは七十四
町村であつて夫々重複してゐる。

△工事費の内容

	使用員數	勞力費
道路	一、四四、〇八二人	六九三、六六圓
河川	三三、七七人	一四、四六圓
港灣	三、七九四人	一五、七九圓
計	一、三九、五三一人	八五〇、八六圓

となり、工事費に對する勞力費の歩合は、
道路五割二歩強、河川六割一分弱、港
灣三割九厘、平均五割三分強

であつて、要するに七年度振興事業に於て
従來山間部の道路改修が甚だ惠まれざるも

ものであつて、常に關係地方苦痛の種とな
つてゐたが、今回を機に其大部は目的を達
し得たのと勞力費が割合に汎く分布された
事實に見て、成績は頗る佳良である。

青海、市振興國道改修

内務省は二百萬圓を投じて三ヶ年計畫で
西頸城郡國道十一號線青海町市振村間三里
の廢道然たる道を大改修するの案を建て、
計畫第一年の本年は二十萬圓を支出し關係
區間の測量を爲し、道路大改修に當つて支
障なしと認められた工事を測量の餘剰金で着工
するに決し、目下青海町に事務所を置き多
數係員出張實測中である。測量の結果、現
在の國道は青海町附近を始め各所に大迂廻
をなす個所が多いので出來得る限り之れを
直線化するの方針に出で、先づ之れが第一
工事として青海町西端は青海川で直角の線
となり山手へ引込まれ、鐵道の上方に國道
橋あるを鐵橋下へ工費八萬圓で鐵筋コンク
リートの新橋を作り、直線化するに大體決

定、七月頃より起工の豫定である。

間瀬の幹線道路改修

西蒲原郡間瀬村にては今回の大火災に鑑み、従來狹隘にして防火上將又交通上不便なる現在の幹線道路を幅員二間半に取擴げると同時に、海岸より山の手に通ずる幅員二間の横貫道路二本を新設し、本年度に於て施行する縣營防波堤併用幹線道路と聯絡を取り、防火交通の充實を計るべしとの輿論高まりつゝあるので、村當局は之に共鳴し、萬難を排し斷然實施することを決意し、新潟土木出張所に申請し、吉井所長木口主任の來村を得右の通り村道を改修する實地踏査を行つた。横貫線開設の場所指定に就ては民家の敷地を割る關係及防火上の利害得失を研究する必要があるもので、永木卷警察署長の來村を求め、鈴木村長消防組幹部出動して實地踏査の上研究を行ひ署長より指示を受くる處があつた。

町村匡救工事手續等 緩和方陳情

時局匡救事業としての町村土木工事は、七年度工事の實績から見ても幾多遺憾の點あり。殊に手續書類等は非常に煩鎖で町村當局を悩ます處多かつたが、新潟縣町村長會では八年度工事施行直前に際し、これが事情を述べて縣當局の善處を願ふことになり六月八日午後一時から縣廳内で各郡町村長會長會議を開催、小野會長以下十六郡町村長會長其他役員參集し各町村から寄せ集めた陳情要項について審議したが、結局左記二大項目に要約し、九日午前中に小野會長、島田副會長其他代表出縣し、千葉知事に陳情することゝなつた。即ち、
一、本年度工事竣工期は十月と通牒されてゐるが、これを翌年一月まで延期されたいこと。
二、工事竣工認定調書其他一切の事務を成るべく簡略にせられたきこと。

の二項の第二の項目は更にその内情を披瀝して苦痛の實情を訴へて、これが簡略化を陳情することに決し、午後五時散會した。

東 海 方 面

勝景三河灣を繞る 大觀光道路計畫

東海の勝地蒲郡に觀光ホテル建設を機に三河灣に面してゐる寶飯、幡豆、碧海、知多の四郡にわたる沿岸の有力者有志はこの程來各所に集合し、更に三河灣全體にわたつての優れた風景をも内外の遊覽者に紹介すべく觀光道路開發の計畫を進めてゐるが右計畫道路は、蒲郡を起點とし、寶飯郡型原町、幡豆郡幡豆町、吉田、宮崎、一色町、碧海郡玉津浦、新須磨等の海岸勝地を縫ふて高濱町に出で、ここからかねて計畫中の衣ヶ浦架橋實現をはかつて知多郡龜崎町に

それより知多郡の海岸勝地を巡つて名古屋市へ結ばんとするもので、近く縣及び内務省へ向け請願をなすと共に積極的の運動をするはずである。

名古屋、長野線縣道の擴張期成同盟會設立

名古屋市東北郊東春日井郡勝川町より鳥居松村、篠木村、高藏寺町、坂下町を通じて多治見に出づる名古屋、長野線縣道の國道編入と擴張改修工事は多年の懸案であり地元町村民は絶えずこれが改修着工の運動を繼續してゐるが、今回縣では重要國縣道二十四線に對し六千萬圓の繼續改良費より數千萬圓を捻出して改修鋪裝工事の計畫をたて、その調査に着手したとのことを耳にした東春日井郡勝川町及び鳥居松村、篠木村等の下街道(名古屋、長野線縣道のこと)沿線の商工業者發展會では樋口、神戸兩縣議をして宮島土木部長の視察を懇請し、第一期事業としてこれが擴張改修を陳情する

ところあり、また勝川町及び鳥居松村等では町村會でこれが促進の運動を開始する事に決し、着々その方針に向つて邁進しつゝあるが、更に兩町村當局及び沿道民發展會等を打つて一丸とした名古屋長野線縣道擴張期成同盟會を設立し六月十七日午後六時より勝川驛前鳥幸料亭に創立發會式をあげ會員二百餘名の参加を見て會長に長繩金二郎氏、副會長に野浪辰三郎氏、高木劍一氏を推し、顧問に大脇勝川町長、河原鳥居松村長及び兩町村の町村會議員等を、また委員及び評議員等三十餘名の役員を設けてこれが貫徹に努力することを申合せ、午後九時半散會したが、更に近日役員會を開き具體的運動に入る筈である。

瀬戸山脇橋渡橋式

瀬戸市瀬戸驛前大橋と縣道十三橋との間には、瀬戸川を横斷する橋がなく、中間の住民は多年不便を感じてをり、先年市において假橋をかけたが、洪水のため流失し、

そのまゝとなつてゐたのを昭和八年度の豫算に一千五百餘圓を計上して架橋することになり、過般來工事中のところ、數日前落成したので山脇橋と命名して六月十七日午前十時から渡橋式を行ひ、小出市長を始め市會議員その他公職者並に陶原、道泉兩小學校の代表兒童參列したが、この山脇橋の架橋によつて地元民は多大の利便を得られる事になつた。

稻澤町の道路の竣工

去る三月三十一日起工された中島郡稻澤町生和田地内の昭和七年度縣費補助道路、甚目寺一宮線の改修工事は三十一日の期限より早く二十日に竣工した。

遊覽地犬山をめぐる道路網

遊覽地犬山をめぐる道路網は縣、町が相呼應して着々設計工事中であるが、中にも内務省が直營事業として大改修を施す郷瀬川工事は、豫算八十餘萬圓を投じて八年度

より向ふ三ヶ年の豫定を以て行はれ、目下
縣河港課の永尾技師外數名は犬山町役場に
出張し、晝夜兼行で實測中である。特に犬
山地区は遊覽地にとほはしい設計をほどこ
し、堤防はモダンな散步道になる模様であ
る。目下八分通りの工事を終了した名古屋
犬山線の縣道工事も六月中には完成する豫
定で、ガソリン機關車三輛を運轉して之も
晝夜兼行で工事を急ぎつゝある。名古屋ま
で全通する時期をまつて舗装工事を施し、
將來はドライヴ・ウエーの計畫がたつてゐ
る。更に町費負擔で遊園地動物園前より九
山、繼鹿地内に通する内田、丸山線は幅員
三間、延長三百五十間、豫算一萬五千圓及
び出來町先きより城東村今井に通ずる犬
山、多治見線の延長工事は幅員三間、延長
千三百二十八間、豫算約一萬六千圓の豫定
で、この内犬山町が一萬圓城東村が六千圓
負擔の共同事業で、それ〴〵設計に着手
し、その他名栗町女學校線、鍛冶屋町縦貫
線、熊野町改修線など何れも本年度中に竣

工させる豫定となつてゐて、鋭意準備中
である。

近畿方面

京津國道竣工

京都と大津を連絡する京津國道改良工
事は今回竣工したので、五月廿七日午前十一
時京都市東山区山科御陵大津畑町で山本内
相臨場の上盛大なる竣工式が舉行された。
當日坂本内務省大阪土木出張所長の報告せ
る京津國道改良工事概要は左の如し。
本京津國道改良工事ハ昭和六年四月工
起シ昭和八年三月竣工セルモノニシテ京
都府滋賀縣ニ亙リ京都府側ニ於テハ京都
市東山三條通り號上ヲ工事起點トシ滋賀
縣側ニ於テハ大津市上片原町邊坂山峠地
先ヲ工事起點トシ共ニ兩府縣界ヲ工事終
點トシテ連絡セラレ此延長七軒六百餘米
ニ及ヒ更ニ滋賀縣執行ニ係ル大津市札ノ

辻ヨリ邊坂山峠地先ニ至ル延長一軒五百
米ノ完成ニ依リ京都大津兩市ハ完全ニ連
絡セラレ茲ニ交通刷新ヲ實現スルモノニ
シテ繼テ舊來ノ國道ヲ見ルニ往時ノ東海
道ハ明治十年國道改修ノ際日岡峠ニ於テ
三米以上ノ切下ケト全時ニ路幅モ二米内
外ヨリ七米内外ニ擴張セラレ駕籠時代背
負運搬時代ハ過キ一躍車輛交通ノ劃期的
改良施サレシト雖モ爾來星霜ヲ重ヌルコ
ト正ニ五拾數年緩行車馬時代ハ去リテ今
ヤ急行車輛時代ニ入り殊ニ近時急激ナル
自動車交通ノ發達ハ現狀ニ於ケル道路ノ
如ク自動車ノ通過ニ支障アル場所スラ
有リ加フルニ迂餘曲折急坂頗ル多ク之カ
改良ハ久シキ待望タリシ處ナリ。依而本
工事ニ於テハ日岡峠邊坂山峠等山地区
幅員十一米ノ四車線ニ擴張シ曲線及急坂
ノ緩和ニ努メシ外平坦部ハ幅員十六米ノ
坦々タル直線的道路ヲ新設シ全區間ヲ步
車道共夫々適應ノ舗装工事ヲ施シ大イニ
道路ノ有効使用率ヲ高メスピードアップ

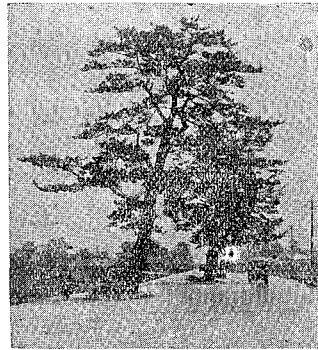
ニ依ル時間短縮ハ延ヒテ距離ノ短縮トナリ兩都市ノ繁榮動脈トナルト共ニ東海道中山道及山陽道山陰道ノ重要ナル連絡道路トシテ交通車輛ニ著シク改善ヲ來タシ産業ノ發展文化ノ進運ニ寄與スル大ナルモノアルベシ。

尙本工事ノ工事費ハ直轄施行ノ分ハ一、七一六、〇〇〇圓、滋賀縣施行ノ分ハ五一三、〇〇〇圓、道路延長ハ京都府側ハ四、八八八米、滋賀縣側ハ二、七四七米、別ニ滋賀縣施行ノモノ一、五〇〇米ニシテ本工事ニ使用セル勞働者數ハ直轄施行ノ分四〇一、四二八人、滋賀縣施行ノ分一五、九三〇人ナリ。

京阪國道竣工

京阪國道は昭和三年起工以來巨費を投じて鋭意工營の結果今回完成し、五月二十三日盛大なる竣工式が舉行された。尙當日村山京都三浦大阪兩府土木部長の報告せる工事概要は左の如くである。

京阪國道ハ我國産業ノ心臟ヲ貫スル國家ノ大動脈テアル然ルニ往年久シク改築ノ機熟セスシテ府下ノ狀況ハ路面粗惡、直角屈曲十三ヶ所、軌道平面交叉又二ヶ所、幅員モ亦ヤウヤク五米内外テ甚シイノハ三米位ノ個處サエアリ、維持費ノ累増交通ノ困難、高速ノ危險、時間ノ不確實、



京阪國道牧野附近

通行者ト沿道住民ノ不便不快ハ忍ヒ難イモノカアツタ。殊ニ淀大橋ハ朽チ蝕マレテ危險極リナク、速度ト荷重ノ制限ヲ加エテ僅ニ事ナキヲ得ツ、アツタ。斯如キ狀態ハ本府ノ發展延イテハ國力ノ消長ニ至大ノ影響ヲ及ホスヘキコトハ勿論テア

ツテ、本道路ノ改修ハ喫緊ノ要務トシテ待望セラル、ニ至ツタ。本府ハ即チ先ツ急務中ノ急務テアル淀大橋ト御幸橋ノ改築ヲ目論ミ豫算一百十一萬七千三百圓ヲ計上シ、大正十四年府會ノ要路ニ諮ツテ贊同ヲ得、ツイテ昭和二年ノ府會ニ於テ更ラニ府下京阪國道全線ノ改築工事費豫算三百二十萬圓ヲ都市計畫事業トシテ提出シ可決セラレ、内閣ニ稟伺シテ昭和三年七月都市計畫事業ノ決定ヲ見、事業起債ノ認可モ亦昭和三年九月コレラ接受スルコトヲ得タ。カクテ兩橋改築工事ハ昭和二年十一月實施設計ノ認可ヲ受ケ昭和三年十月起工ノ式ヲ舉ケ、昭和三年十一月大禮事務ノ一段落ト共ニ工事ニ着手スルトコロカアリ、都市計畫事業モ亦昭和五年三月實施認可ヲ受ケテ直チニ着工シ共ニ銳意工營ノ結果、前者ハ昭和六年三月後者ハ昭和八年三月ヲ以ツテ夫々豫定ノ通り工事全ク完了シ、昭和八年五月竣工ノ式ヲ舉行シタ。本工事ノ使役延人員

四十萬四千人、重要材料セメント三十九萬袋、主要工程土工三十七萬立米、支出工費約三百五十萬圓テアツタ。本工事ハ計畫ノ徹底、工事ノ眞摯、構造ノ堅牢、外觀ノ爽美、設備ノ完全、工夫ノ新規ナラヒニ工費ノ低廉ヲ以テ特色トスル。ソノ原因ハ施行ノ時機ヲ得タルコト、内務省大阪土木出張所ヨリ莫大ナル土工用機具ヲ借用シタルコト、工事執行上ノ諸機關ノ権限組織ニツイテ特別ナル考慮ヲ拂ヒタルコト、工事方法ヲ直營ト請負ノ兩法ヲ併行セシメテ各々ノ特質ヲ利用シタルコト並ニ工事關係者ノ一致協力ニヨルトコロト認メラル。

カクテ京都府ト大阪府トハ時ヲ同シクシテ京阪國道ノ全線ヲ完成シ快適ノ路面ヲ提供シタ。兩市ヲ連絡スル自動車ハ年ト共ニ激増ノ勢ニアツテノ狀態ヲ見ルニ昭和四年ハ二百五十臺、昭和五年ハ四百臺、昭和六年ハ七百十臺、昭和七年ハ九百七十臺、而シテ全線開通ノ年昭和八

年ニアツテハ遂ニ一千臺ヲ突破スルコト百六十臺ノ多キニ達スルニ至ツタ。時恰モ京津、神明ノ二大幹線路竣工シ大津ヨリ明石ニ至ル百十軒ノ大道ハ坦々砥ノ如ク産業文化並ニ軍事上ニ寄與スル所ハ測リ知ル可ラサルモノカアル。

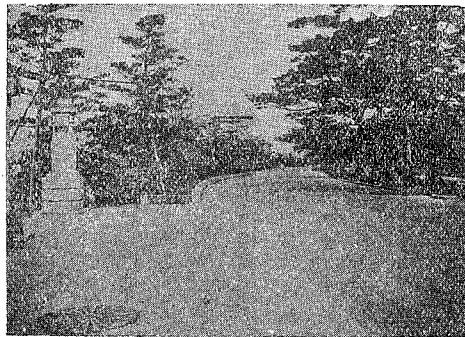
神明國道竣工

大正十年起工以來巨額の經費を投じ功を急いでゐた神明國道は今回竣工し、去る五月二十二日盛大なる竣工式が舉行された。尙當日吉岡兵庫縣土木部長の報告せし工事概要は左の通りである。

神戸明石間國道二號線改築工事ヲ竣ヘ本日ヲトシ竣工ノ式典ヲ舉行セラルルニ當リ、工事ノ概要ヲ報告セムトス。

改築區間ハ明石郡垂水町神戸市郡界ヨリ明石市水上町ニ至ル延長一〇料五ニシテ、其ノ幅員車道ハ一〇米歩道ハ市街地及片側歩道ノ區域ヲ三米六四トシ、郊外地域ハ三米〇トス。曲線半徑ノ小ナル

モノハ概ネ二七二米縱斷勾配ハ最急三分ノ一、最緩四百分ノ一、横斷勾配ハ車道中央高ヲ三十五分ノ一トセル拋物線形トシ、歩道ハ六十分ノ一ノ直線勾配トス



神明國道舞子附近

路面ハ車道ヲ厚サ一八糎ノ「セメントコンクリート」、基礎ハ厚サ一〇糎ノ「ブラックペイス」、上ニ厚サ五糎ノ瀝青、コンクリート」鋪裝トシ、歩道ハ「コンクリートブロック」鋪裝ヲ施工シタリ。其

ノ他並木ハ七米毎ニ環境ニ應シ、之ヲ按配シテ八種類ヲ植栽セリ。

橋梁ハ總數十一箇所其ノ延長一四〇米ニシテ、構造ハ鹽屋跨線橋ノ連續鋼版桁ヲ除キ總テ鐵筋混凝土造トス。之等工事ニ要シタル材料ノ主ナルモノハ、

- セメント 三七、〇〇〇樽
- 石 材 三〇、〇〇〇切
- アスファルト 一、三〇〇噸
- 洗砂礫 九、〇〇〇立坪

ニシテ、之ニ要シタル職工延四九、〇〇〇餘人、人夫延一七五、六〇〇餘人ナリ。之カ總工費ハ五、七四一、〇〇〇餘圓ニシテ、軌道ノ移築セル延長ハ六汗八、之カ工費約百萬圓ヲ包含ス。

而シテ工事ハ大正十一年度ヨリ實施設計及用地買収ニ着手シ、爾來エテ進メ、茲ニ之カ完成ヲ見タルハ内務鐵道兩省ヲ始メ關係地方各位ノ御援助ノ賜ニ外ナラス。工事報告ニ當リ一言感謝ノ意ヲ表ス

明和國道の竣成

明和國道明石川に架橋中のゲバート式モダンの明大石橋は六月末に竣工し、上水町から市外小久保間の國道工事も七月末には竣工し、六月二十二日竣工式を舉げ一般に通行が許された。これに依つて神明國道との充分な連絡が成り、神戸加古川間に近代道路が縦走し播州の道路交通上に極めて便宜を興へるであらう。

大姫路の道路網

グレート姫路の心臓部たる姫路驛と飾磨港を中心に明朗な近代的都市をつくり出さうとする姫路市の都市計畫は、最近道路網のプランも全部出来上つたので、今秋十月ごろ縣で都市計畫委員會を開き、審議に附し事業年度がきまれば明年度からでも實施に着手する模様であるが、今該道路網のプランを開くに道路は總て十一米(六間五厘)以上の幅員で、十八米(九間九分)の幅員を

有する大道路だけでも五線を敷へる。姫路市内に屬する道路網は、

- 驛前から城南練兵場に至るもの、幅十六米、長さ五百米 △宇治電驛前から神田町日出紡績横手に出づるもの、幅十八米乃至十六米、長さ千三百米 △白鷺橋から南畝町大將軍に至るもの、幅十八米、長さ九百米 △市役所から朝日町に至るもの、幅十八米、長さ三百米 △市役所南方から北條口巽橋に至るもの、幅八米長さ五百米 △巽橋から竹の門メリヤス會社東北に至るもの、幅十一米、長さ二千米 △宇治電驛前から野里軍人橋に至るもの、幅十八米乃至十六米、長さ三千四百米 △船丘町から東郷町市川橋に至るもの、幅十八米乃至十六米、長さ三千四百米 △白鷺橋から岩鼻刑務所前に至るもの、幅十六米、長さ九百米 △材木町市橋西から大野峠に至るもの、幅十六米乃至十一米、長さ四千三百米 △中學校前から新在家高等學校北に至るもの、

幅十一米、長さ五百米 △中學校前から野里慶雲寺前に至るもの、幅十一米、長さ九百米 △八代善養寺西から同心町に至るもの、幅十六米、長さ一千二百米 △善養寺西から高等學校南に至るもの、幅十六米、長さ五百米 △野砲兵隊裏から梅谷峠に至るもの、幅十一米、長さ一千五百米 △城北練兵場西南から軍人橋に至るもの、幅十一米、長さ一千米 △京口驛から東郷町大杉牧場前に至るもの、幅十六米、長さ五百米。

尙ほ、飾磨姫路間をつなぐ幹線道路は、東部線、中央線、西部線の三線で、西部線は現在産業道路として關係市町村間に地元負擔金で問題になつてゐる。飾磨港から手柄村を経て姫路市福中町國道に達するもの、中央線は飾磨港から城南練兵場に達するもの、東部線は大森新田から北上し南條で分岐し、一は市之郷で國道に聯絡し、一は北條口を経て野里道路に聯絡するものであらう。

西大阪の街路樹計畫

六月早々炎天のスピードアップに一枝の木蔭も暮はしい今日此ごろ、街路樹の總元締大阪市公園課では綠化運動の空地もがなと血眼になつて捜してゐるが、市内中央部臺の海の中では、十坪と植樹の出来る空地がない。只一の淀川堤は蜿々三哩に亘る大堤防。是に柳櫻をこきまぜて植込んだら日本一の並木風景。春は花見、夏は市民夕涼みのオアシス、京都下鴨の森も、東京の荒川堤も三舍をさける。

そこで、内務省に手を替へ品を替へて植樹を歎願するが、本省は堤防法案を楯に取つて躑躅一木植ふさせぬ。それは植樹すれば堤防がゆるむと言ふのであるが、市側では根元のゆるまぬやうな植林の仕方と手入れば如何様にも出来る。堤防法案程惡法令は又とあるまいと澤してゐる。仕方無しに精々電車通りのプラタナスを育てるより道はないが、茲に不可思議な一事は大正區、

港區方面でどうしても街路樹の育ちにくい一地带がある。

コンバスの脚を堂島大橋に立て、四貫島まで開きぐつと東に弧線を描いた一帯は港線安治川線、築港線鶴町線すべて樹木の育ちが悪い。このあたり大阪築城時代は海底であつたのだから、何か波の底に不思議な謎が秘められたまゝ、埋め立てられたらしい。事によつたら黄金脈でも地下にうなつてはゐまいかと公園課では二、三年來首をひねつてゐるが、未だにその正體が分らぬさうだ。

大阪市道の無斷占用

大阪市がこの二年間に一億五千萬圓と云ふ龐大な經費と年に百五十萬圓の維持費を投じて整理してゐる市内の道路を無斷で占用する市民のために、著しく道路の美觀と交通上の障害を起すので、昨年来嚴重な監視の目を光らしてゐるが、今年も一月以降五月迄に道路の無斷使用で檢舉されたもの

八百四十件、追徴金一萬五千三百四十一圓に上つて居り非常に閉口してゐる。右につき大塚土木庶務課長は語る。

夏季には違反者が多いので、今から取締り方法を研究してゐるが、最近大口の違反が減少した事は喜ばしい傾向だ、が一般市民中には道路は「市民のための道路」であると云ふ觀念が徹底しないのは遺憾だ。違反の一番多いのは、板圍、物置、工事材料放棄その他ひどいものになると、乗合バスが無断で停留場を作つたり、起重機を勝手に道に立てたまゝ放棄する等のものもあり、今後府の交通警察當局の御力を借り、取締りを嚴重に勵行したいと思ふ。

中國方面

道路修理に奉仕

廣島縣賀茂郡西志和村男女青年團では、

地方通信

去る大正十五年五月二十六日

聖上陛下攝政宮におはせしとき、中國行啓の際西志和村に侍從御差遣の光榮に浴し、この無上の光榮を長く記念するため、本年度も五月二十六日午前五時三十分男女青年團員二百五十餘名は、小學校庭に集合し、青年團長藏田正治氏の指揮で遙かに皇居を拜したのち、全員を二十數班にわかちて各分區長指揮のもとに道路の修理を行ひ、午前十時三十分全部終了して散會したが、一般村民は青年男女たちの心からの事業に對して非常によくこんである。

岡山市の道路舗装五ヶ年計畫

岡山市の都計事業はその第一期を完了したが、道路舗装工事は猶殆ど見るべきもなく、さきに舗装された岡山驛前通りの他新西大寺町表八ヶ町目抜き商店街が舗装されてゐるのみで、之ら舗装道路も接續道路が未舗装のため、一朝雨天の際は折角の舗装道も泥濘で濘面をつくるなど、その効

果がさつぱりあがらないので、市土木課では今回市中心部の主要市道舗装五ヶ年計畫を樹立した。これが工費五十萬圓に上る見込みで、まづ磨屋町柳川筋、丸町などが第一目標とされてゐる。

廣島吳國道中矢野、坂線の起工

内務省直營廣島——吳間第三二號新設國道の本年度工區矢野町——坂村間一二七〇メートルは、一日からいよいよ工事にとりかかり、同時に海田市職業紹介所において従業人夫を供給することとなつた。ついで前年度において同紹介所名簿に登録済みのものは隨時就業し得るが、未登録の失業者達はこの際各自町村長を経て海田市職業紹介所長へ登録の手續をとれば、同工事人夫として就業することが出来るとのことである。

可部、海田市線の縣道擴張計畫

廣島縣安佐郡内において太田川兩岸交通線唯一の陸上連絡線たる中原村縣道から深川村縣道に通ずる可部——海田市線縣道は幅員わづか三メートル、藝備鐵道沿線と廣

濱鐵道沿線は廣島以北でこゝ一つの連絡道たるのに承認道路となつてゐるため、自動車の自由乗入れができず、通行する都度所轄警察署の認可をもとめなければならぬので、かねてからこれが道路擴張を叫びられてゐたが、こんど深川村と中原村が聯合して、本年度匡救事業編入によつて一大改修を企てることとなり、深川村ではすでに縣へ申請、中原村では地元關係中島部落民が十九日夜會合して協議した。

尾道市の道鋪裝工事完成

尾道市の失業救済市道鋪裝工事は、本年一月二十六日着工、その後豫算を追加し、三月一杯の完成期間の豫定より約五十日遅れていよいよ五月二十二日完成。他都市並にモダン市街のお仲間入りをして、全く面

目を一新した。なほ右鋪裝市道の延長は千三百四間五、總面積四千八十六坪三で、この工事で救はれた失業者延人員は二萬六千四百九人であつた。

岩柵、一貫田間道路の改修

山陽線路中の箱根と稱へられる急勾配瀬野——八本松兩驛間を區域内にもつ安藝郡瀬野村では、従來國道の幅員がせまいのと龍の口、上地など見透しがたい踏切多いため、交通事故の續發するを防ぐため、内務、陸軍、大藏の各當局あて數度國道改修の陳情書を提出してゐたが、今回下瀬野字岩柵、上瀬野字一貫田間約六〇〇メートルを幅員八メートルの國道に改修起工されることになつた。

里道の新設

廣島縣安佐郡安村多年の懸案となつてゐた大町部落縣道から、小瀬部落の縣道に通

ずる幅員二間、延長約一千間の里道新設はさきに縣費補助申請をし、その一部は今回の匡救事業で完成したが、その他は補助あるごとに漸次新設することとなつてゐる。

この里道新設の目的は交通不完全な川内村へ通ずる東西幹線の連絡をはかるため、全部完成すれば村境の古川へ延長約五百五十間の木橋を架設するが、これは工費約一萬五千圓と見積られてゐる。一方川内村では安村連絡が完成すれば、村幹線の西部はこゝとくく連絡されることになり、最近完備した村内幹線道路の存在は大いに有意義となるが、東部は太田川の帶水で絶縁状態にあり、わづかに渡船で連絡してゐるものゝ折角幹線を建設しながら車馬の交通連絡が東西の縣道におよばぬのは遺憾とし、かねてから中調子渡船場から口田村藝備矢口驛に通ずる太田川橋架設の議が兩村で持ちあがり、まだ具體的計畫にまで進んではゐないが、近く縣へ陳情して補助申請をなすべく兩村有志が奔走中。

八幡橋渡初式

賀茂郡竹原町礪の宮神社神苑から驛前に通ずる八幡通り本川に架設された八幡橋は昨年秋起工竹原町倉本組の手で工事をすすめてみたがこのほど竣工、竹原町では同橋渡初式を六月七日午前九時から執行した。

右八幡橋は長さ十七間、幅員三間の全部鐵筋コンクリート橋、八幡神社に因み欄干は凝寶珠を使用し、電燈の備へつけあり。工費一萬圓である。これに依つて忠海、大乗方面や同町大石、黒濱方面から竹原驛の通行人の便益は大いなるものがある。

海田原の吊橋

地方改善事業として縣の補助を得て開設中であつた廣島縣變三郡吉舎町海田原の吊橋は今回竣工したので六月二十四日午前十一時同橋上で竣工式を舉行した。尙同橋は昭和六年六月改善事業として申請中であつ

た、同橋梁は本年三月三日認可指令に接し、三月十六日町會の承認を得て四月十五日高田郡湯田村大田茂六氏擔當で着工したもので、延長三十七間、幅員六尺。工費二、一〇圓。内一、〇五八圓縣費補助、五〇〇圓地元寄附、六五二圓町費で負擔したものである。

大橋橋竣工

岡山縣後月郡木之子村稻木川(同村社籠)に架橋の大橋橋は、昨年十一月下旬總工費三千餘圓で着工以來、鋭意工事中のところ此程漸く竣工した。同橋は延長十二米、幅員三米五、全部鐵筋コンクリートで欄干は人造花崗石洗出しで橋の兩端は東森嘉作、廣井新吉兩氏寄附の燈籠を施し頗るモダンなものである。

松江大橋 歩行者數懸賞募集

島根縣土木部では今回全國一勢に施行された國道主要府縣道の交通量調査に附帶し

て左の通りの趣旨にて松江大橋濱田大橋の歩行者數を懸賞にて募集し、道路愛護の念をか喚起した。

今回政府ニ於テ全國各府縣ノ國道及主要府縣道ニ付交通量ノ調査ヲセラル、コトナリ、ソノ第一回ヲ六月一日、二日、三日ノ三日間、其ノ第二回ハ十月十八日、十九日、二十日ノ三日間全國一齊ニ行ハル、コト、ナリマシタ。

本縣ノ國道ハ拾八號及十九號ノ二路線アリ。八號ハ米子カラ松江、今市、濱田、益田、津和野ヲ經テ山口縣ニ行クモノ、十九號ハ松江市津田街道テ國道拾八號ト分レ、作橋、新大橋、鍛冶橋ヲ經テ、京橋川ニ沿フテ京橋北詰カラ殿町本通ヲ北ニ走り、松陽新報社前ノ道路元標ニ至ル迄デ、此ノ二路線ヲ併セ其ノ延長六十六里デアリマス。

府縣道ハ其ノ路線數百九拾四線延長五百九拾五里、縣下到ル所ニ通ジテイマス。夫レ故本縣ノ國、府縣道ノ延長ハ合シテ

六百六拾餘里、道ハ六百八拾里ニ比シ貳拾里足ラヌ勘定デアリマス。

却説今同此ノ國府縣道六百六拾里ノ中百八拾箇所(内、貳拾七箇所ノ鐵道路切アリ)ニ於テ朝ノ五時カラ夜ノ九時迄ノ間調査員ガ交通調査ト赤ク染抜イタ腕章ヲカケ、道路交通情勢觀測所ト書イタ大看板ノ下デ步行者、牛馬、人力車、自轉車、荷車、牛馬車、自動自轉車、乗用、乗合及貨物自動車等ノ數ヲ調ベルコト、ナリマシタ。尤モ松江大橋今市本町、濱田大橋ノ三箇所ハ午前ノ零時カラ午後十二時迄九二十四時間上リ下リニ分ケテ統計スルノデアリマス。

就テハ我國路政上此ノ革期的交通調査ガ行ハル、ヲ期トシ、松江、濱田ノ兩大橋ガ滿一日ノ間何人ノ人ニ依リ踏マル、カト云フ面白イ課題ヲ出シ懸賞募集ヲ行ヒ、普ク縣民ニ道路愛護ノ觀念ヲ喚起シテ戴キタイト考ヘ此ノ計畫ヲ發表スルニ至ツタノデアリマス。ドウカ奮ツテ應募

セラレン事ヲ。

九州方面

福岡縣下道路改築の認可と承認

内務省は十六日附を以て福岡縣に對し府縣道若津南關線道路改築の件を認可し、同西新二日市線外七線道路改築の件を承認する旨の指令を發した。

(一) 西新二日市線

- 一、九州鐵道および鹿児島本線との平面交叉には適當なる保安設備をなすこと
- 二、橋臺根入れ不十分と認められるにつき再調の上施行のこと。
- 三、エル型測溝は一、三、六コンクリートとなすこと。
- 四、篠栗福丸線橋梁の有効幅員は道路の有効幅員と同一になすこと。
- 五、寒田安武線測點(一)四五號、一四六

號)溝渠の床版厚きは一五センチとなすこと。

(二) 十箇千足線

- 一、道路の有効幅員は起點より測點第七〇號に至る區間は四、五メートルとなすこと。
- 二、道路の法腹は土羽となす方經濟的の如く認められるにつき擁壁溝は適當の高さに止むるやう施工のこと。
- 三、道路の屈曲部においては道路構造同細則第十條第十二條に準據し、幅員を擴大し、且つ勾配を附すること。
- 四、中津江黒木線最小縱斷勾配は四百分の一度となすこと。
- 五、杓杓田大里線道路の曲折部に於ては道路構造令細則第十條第十二條に準據し、幅員を擴大し、片勾配を附する事
- 六、若津南關線(一)鋪裝幅員は六米となす事。
- 七、最小縱斷勾配は三百分一度と爲す事。

板付、福岡間國道工事の起工

博多驛東方三笠橋から板付を経て太宰府方面に通ずる國道の板付以南は既に竣成し板付から福岡市の間が未完成であるが是も郊外地は近日中から工事を始むる事になつたので、將來都市計畫路線實施の際、國道幅員十一米突を更に九米突擴張して廿米突にせねばならぬ面倒を此際一氣に解決し、建築線、舗裝、下水等の附帶問題で後日悩まないやうにした方が得策だと云ふので、地元住民は國道を中心に同地方約八十八町歩の土地區劃整理を企圖し、三笠橋から市外那珂村東光寺に至る間の土地所有者約二百名の同意書取纏め中で既に半数以上は調印済みだと云ふ。尙整理事業費は廿萬圓見當の由。

日田、久留米線道路の崩壊

縣道日田、久留米線日出郡五和村大字川下字加々鶴の目下局部改良工事中の箇所は

着工以來再三の土砂崩壊あり。同線は最も交通頻繁の要所として其都度交通杜絶に衆人の迷惑一方ならず、日田土木管區に於ても應急の施設をなすと共に、極力工事を急いでゐるが、二十六日夜又々約百五十坪の崩壊あり。杉並木三十本餘を倒し電線を切断する等、全く車馬の通行を止め、辛うじて人のみ歩行出来る有様で、車馬通行迄は一週間を要すると云はれてゐる。未だ汽車便を有せざる日田に於て、此要所を途絶される爲に被る損害は實に甚大なるものにして、此際姑息の修理等を爲さず、一大改良工事をして安全を期して貰ひたいと熱望してゐる。

八年度失業者の就職斡旋

福岡縣職業紹介事務局管内の八年度國營に依る時局匡救土木事業の主なるものは、大體次の如く六月十六日同局長の名を以て平山別府市長外關係市町村長に宛て出役人夫は成るべく政府の趣旨に則り、その關

件地在住の細民階級並に失業者を充當すべく、極力斡旋され度き旨を通告した。

△山口、福岡兩縣下では關門海峽改良工事。

△福岡縣では福岡市堅粕町より築紫郡珂村國道改良。

△大分縣下では大分郡八幡村國道改良工事。

△佐賀縣下では佐賀市道祖元町より佐賀郡嘉瀬村國道改良工事。

△宮崎縣大淀川の改良工事。

で、別府市職業紹介所では本年度も前年以上の就職斡旋を爲すこととなり、目下市内在住の失業者並に細民中出役希望者の取纏め中である。

南大分市道の竣工式

匡救道路として大分市南大分大字畑中から明礮に通ずる市道の竣工祝賀會は地元主催で五月二十三日午後三時半から新道路の中央で奥小路、畑中兩區民百三十名に來賓

として、高田市長、大島助役、市土木係、秦市會議長、秋月、猪原の各市議等出席の上開會、先づ型の如く神事の後秦喜久治氏の工事報告、秦議長、高田市長の祝詞抄接の後祝賀會に移り、大盛況裡に散會した。工費等は左の如し。

工費三、八九七圓、延長二七九間、幅員三間、起工昨年十二月二十五日、竣工本年二月二十八日。

大分市の道路鋪装工事

大分市のメイン・ストリート電車通りの鋪装は僅に竹町角から農銀横に至る電車軌道面の花崗石張り工事を除いて、驛前から農工銀行横に至る全線（第一期分）は竣工してゐるが、目下工事中の電鐵側の花崗石敷石工事がほど六月上旬竣工すれば、大分の中央幹線道路もこれが竣工で面目一新すでに完成してゐる西大分カンタン附近の鋪装道路と相俟つて電車通りをモダン化する。この驛前から農銀横に至る鋪装工費

は縣（國費を含む）市、電鐵側を合して總額ザツト五萬五千圓、延長約五百間幅員八間半で、工事費の内譯は次の如くである。

市負擔二萬圓、半額受益者負擔、國縣費約一萬圓、國縣道のみ電鐵約二萬五千圓電車軌道敷石其他。

尙ほ外濠から裁判所前に至る百三十間の縣道の鋪装は本春竣成してゐるが、縣側では本年度中に電車通りは農銀横から新川濱町附近までを工事續行の豫定で、豫算が許せば縣廳から大手通りも簡易鋪装の方針であるから、大分市は市が八年度中に施工する西新郡ほか七線の鋪装計畫と共に、全市幹線は鋪装網を完成し、歩き心地のよい近代街路網を現出する事となる。

椎迫、大道間新道開通式

大分市大分三芳の椎迫區と大道町を結ぶ新市道開通式は五月三十日午後四時から新市道の中央椎迫橋際に祭壇を設け、萬國旗を張り廻し、來賓市長代理大島助役、高山前大分市長、區民有志百數十名出席の上賑

々しく執行された。まづ型の如く神事執行の後ち、地元平岡猶吉氏の挨拶、大島助役の祝詞、前市長高山英明氏後藤市議等の祝詞、佐藤周平氏の工事報告で閉式、來賓區民打ち解けて祝賀會に入り、甲斐市議の挨拶後高山前市長の發聲で椎迫區の萬歳を三唱、盛況裡に散會した。

内山溪谷の美化計畫

別府市外朝日村では鐵輪、明礬温泉場の浴客誘致策として金比羅山、内山、扇山一帯に亘る三百町歩の美化を爲す事となり、専ら櫻樹、紅葉樹等を植込み、將來縣立公園化するべく既に完成せる明礬温泉、内山溪谷入口に至る延長五百間を更に六百間に延長し、扇山を貫通し、内山より地獄廻遊道路に至るドライブ・ウエイも開鑿する方針である。尙ほ金比羅山東側の登山道路の竣工も急ぎ金山躑躅等の觀賞樹で彩る事となつたが、大成の晩は扇山登山者や遊覽者の杖をひく者、扱は未知の名勝地遊覽客殺到すべく相當注目されてゐる。